

2017年5月27日（土）『本の病院』

「古くて傷んでしまっても手放せない」という本をお持ちの方は少なくないと思います。

中央図書館では、大切な本を修理したいと思う方々のための『本の病院』を開催いたしました。毎回好評なこの企画は今年で7回目となります。

今回も「高価な本だったので、修理して孫に渡したい」「絶版になっていて、もう入手できないので直したい」「子供が好きな本なので直したい」など様々な思いとともにご来場いただき、参加者は19名、持ち込まれた本は48冊になりました。

図書館では本の貸出・返却だけでなく、一冊一冊の本をできるだけ長くご利用いただくために、日々、修理や装備をしています。装備とは、図書館に受入れた本を皆様に提供できる体裁に整える作業です。その一つに、本にビニールを掛ける作業があります。中央図書館のバックヤードには、この作業を1冊2分弱で行う職人がいます。また、図書館での本の修理は、復元ではなく再活用が目的です。ページが外れてしまった本には専用のりを入れて固定し、破れたページには専用テープを貼ります。

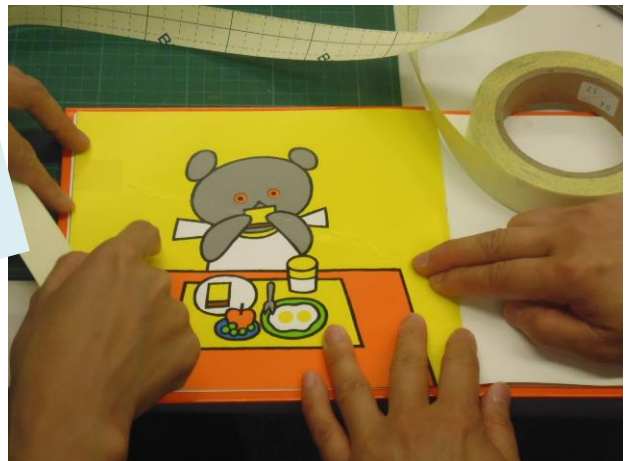
当日は、修理専門スタッフの指導の元、お客様にも簡単な修理を体験していただきました。修理方法に興味をお持ちでいろいろご質問される方、ご自分で丁寧に補修される方など、お客様も作業を楽しんでいらっしゃる様子でした。図書館の修理は見た目がきれいに元に戻るわけではありませんが、大切な本が再び活用できることに、多くの方が喜んでくださいました。



修理専門スタッフに手順を聞き、傷み具合に合わせて道具を選びます。左の写真はビニールを掛けるところです。



破れたところをきれいに合わせ、専用の補修テープを貼ります。





バラバラになってしまった本。
表紙を外し、中身を整え、壊れた背表
紙にガーゼを貼って整えます



のり付けした本は、ゴムで
しっかり留めて乾かします。



限られた時間でしたので、修理が終わらな
かった本も沢山ありましたが、後日無事
にお渡する事が出来ました。



『本の病院』は年に一度、5月頃開催いたします。来年もたくさんの方にお越しただ
けたらと思っております。

また、7月・8月開催予定の図書館探検隊では、普段お見せする機会のない中央図書館の
バックヤードもご案内いたします。皆様のご参加をお待ちしております。